

## 2023年6月・問題

・将棋のタイトル戦の一つである( )戦第5局が5月31日と6月1日の両日行われた。この戦いで渡辺明氏を破って( )のタイトルを獲得したのは( )氏で、今まで獲得した棋王・王将・竜王・王位・叡王・棋聖と合わせて( )冠を達成した。( )歳10カ月での( )冠達成は最年少記録となった。

・( )の金与正(キム ヨジョン)氏は1日、談話を発表し、「共和国の軍事偵察衛星は、近く宇宙の軌道へ正確に進入し、任務遂行に着手するだろう」と主張した。5月31日に打ち上げに失敗した「偵察衛星」について、近く再度の発射を強行する考えを示したものだ。ちなみに米国などは( )に対し、弾道ミサイル技術を利用した発射が国連安全保障理事会決議に違反すると批判している。また、与正氏は( )総書記の妹である。

・( )東部のオディシャ州で2日夜、脱線した列車の車両に別の列車が衝突する事故が起こった。200人以上が死亡した。( )ではインフラの不備や老朽化などのため鉄道事故が頻繁に発生するが、世界的に見ても近年では最悪の事故とみられる。

・日本の最新の( )が発表され、去年は( )であった。ちなみに( )とは、一人の女性が平均して子供を産む数である。これが2を超えてくると人口維持から人口増加へと転じていくが、現在は2を大きく下回っており、日本の少子化に歯止めがかからない状態だ。2022年に生まれた赤ちゃんの数も、年間でおおよそ77万人となっており、第1次ベビーブームの時のおおよそ270万人に比べると相当減ってきたことになる。

・三笠宮妃(みかさのみやひ)である( )さまは4日に誕生日を迎え、100歳になられた。明治時代以降の女性皇族で最高齢。( )さまは公表した感想で「現在は、孫や曾孫の成長をととても楽しみとしております。これからも人々の幸せを祈念しつつ、日々を過ごしてまいりたいと存じます」と述べられた。

・結婚30周年を迎えた記念日を真珠婚という。6月9日に、天皇皇后両陛下が結婚から( )年を迎えた。

・鈴木俊一財務相は28日に、2024年7月前半をめどに新しい紙幣を発行すると表明した。東京都北区にある国立印刷局東京工場で新紙幣の製造工程を視察後、記者会見を行った。紙幣デザインの刷新は2004年以来おおよそ20年ぶりとなり、新一万円札の顔となるのは日本の資本主義の父と言われる( )、新五千円札の顔となるのは日本の女子教育に力を入れた( )、新千円札の顔となるのは破傷風の治療法を発見した( )である。

## 2023年6月・解答

・将棋のタイトル戦の一つである**名人戦**第5局が5月31日と6月1日の両日行われた。この戦いで渡辺明氏を破って**名人**のタイトルを獲得したのは**藤井聡太(ふじい そうた)**氏で、今まで獲得した棋王・王将・竜王・王位・叡王・棋聖と合わせて7冠を達成した。20歳10カ月での7冠達成は最年少記録となった。

・**北朝鮮**の**金与正(キム ヨジョン)**氏は1日、談話を発表し、「共和国の軍事偵察衛星は、近く宇宙の軌道へ正確に進入し、任務遂行に着手するだろう」と主張した。5月31日に打ち上げに失敗した「偵察衛星」について、近く再度の発射を強行する考えを示したものだ。ちなみに米国などは**北朝鮮**に対し、弾道ミサイル技術を利用した発射が国連安全保障理事会決議に違反すると批判している。また、与正氏は**金正恩(キム ジョンウン)**総書記の妹である。

・**インド**東部の**オディシャ州**で2日夜、脱線した列車の車両に別の列車が衝突する事故が起こった。200人以上が死亡した。**インド**ではインフラの不備や老朽化などのため鉄道事故が頻繁に発生するが、世界的に見ても近年では最悪の事故とみられる。

・日本の最新の**合計特殊出生率**が発表され、昨年は**1.26**であった。ちなみに**合計特殊出生率**とは、一人の女性が平均して子供を産む数である。これが2を超えてくると人口維持から人口増加へと転じていくが、現在は2を大きく下回っており、日本の少子化に歯止めがかからない状態だ。2022年に生まれた赤ちゃんの数も、年間でおおよそ77万人となっており、第1次ベビーブームの時のおおよそ270万人に比べると相当減ってきたことになる。

・**三笠宮妃(みかさのみやひ)**である**百合子(ゆりこ)**さまは4日に誕生日を迎え、100歳になられた。明治時代以降の女性皇族で最高齢。**百合子**さまは公表した感想で「現在は、孫や曾孫の成長をとても楽しみとしております。これからも人々の幸せを祈念しつつ、日々を過ごしてまいりたいと存じます」と述べられた。

・結婚**30**周年を迎えた記念日を**真珠婚**という。6月9日に、天皇皇后両陛下が結婚から**30**年を迎えた。

・鈴木俊一財務相は28日に、2024年7月前半をめどに新しい紙幣を発行すると表明した。東京都北区にある国立印刷局東京工場で新紙幣の製造工程を視察後、記者会見を行った。紙幣デザインの刷新は2004年以来おおよそ20年ぶりとなり、新一万円札の顔となるのは日本の資本主義の父と言われる**渋沢栄一**、新五千円札の顔となるのは日本の女子教育に力を入れた**津田梅子**、新千円札の顔となるのは破傷風の治療法を発見した**北里柴三郎**である。